

夜尿症

新しい治療戦略 ミニレンメルト



<https://photohito.com/>



pixta.jp - 41229488



夜尿症

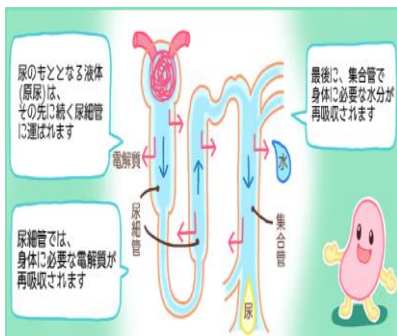


夜尿症とは5歳以降で月1回以上の「おねしょ」が3か月以上続くもの。

お子さんは、親御さん以上に、困っています。悲しい気持ちになっています。自分だって、「おねしょ」はしたくない！でも、でも、でも。」なので、いっしょにがんばろう、負担に思わせないように、、、という気持ちで、みんなで寄り添いましょう。

診断

まずおしっこが、薄くないか調べます。比重、浸透圧などをチェックして、尿の濃縮力を確認します。



<https://www.adpkd.jp/yomoyama/image/s/vol02/1-2-2.jp>

治療

尿で、尿崩症という、尿を濃縮できない病気でないかを調べたのち、治療を開始します。

1) 生活

生活の工夫が、最も重要です。

- ① まず、午前中にいっぱい水分を摂ってもらいます。
- ② 夕食の時点から、水分摂取は控えます。具合的には、18時前までに、しっかり水分を摂り、18時以降、夕食の時から、水分は我慢します。
- ③ 水分を我慢して、尿となり膀胱にたまってきたものを、しっかり、排尿してから寝ます。

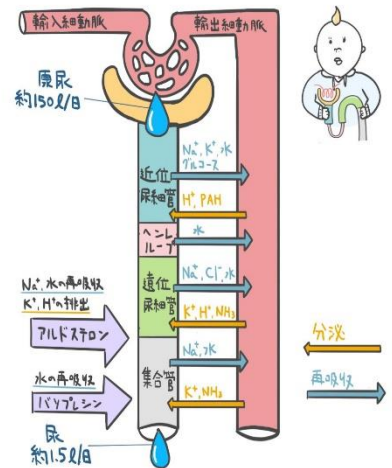
本人に、この3つをお願いします。水分は摂取したら、約3時間で尿になります。そこで、飲んだものは、おしっこでしっかり出してから、寝ることが大事です。

2) 飲み薬を開始

場合により、ミニレンメルト (120) を1錠から、開始します。

生活の工夫と、飲み薬で、ほとんどの子が3か月で治ります。その間、経過薬にシールを張ったりして、成功体験の喜びが倍増するように、応援します。

ミニレンメルト



<https://pbs.twimg.com/media/DXmq3QAU8AAI-Eo.jpg>

ミニレンメルト

薬剤名ミニレンメルト (成分デスマプレシン) は、バソプレシンという抗利尿尿ホルモンをもとに作られた薬剤で、腎臓の集合管のバソプレシン受容体のV2受容体に作用して、水分を血管内へ再吸収させます、

2020年、この子供の夜尿症や、尿崩症等に用いられていた、ミニレンメルト 120μg 240μgが、25μg、50μgと量を減らした形で発売され、年配の男性の、夜間頻尿に用いられるようになりました。

午前中に、一日分の水分を多く摂る習慣が、将来の夜間頻尿を減らすことにも、つながるそうです。

診断

生活の工夫

ミニレンメルト